

# 令和7年度 卒業生アンケート（報告）

令和8年3月 就職・進路支援委員会

## 【調査概要】

- ・本学卒業生の就職定着率・離職率及びその原因等に関する調査・分析
- ・調査対象者：令和6年3月卒業者：320名  
→児教：193名・福祉：5名・食栄：38名・教養：84名
- ・調査期間：令和8年2月1日（日）～2月28日（土）
- ・調査方法：「Forms」を使用した、Webアンケートによる調査

## 【調査結果】

### 1. 回答数・回答率について

- ・回答数：82件（児教：55件・福祉：2件・食栄：7件・教養：18件）
- ・回答率：25.6%（児教：28.5%・福祉：40.0%・食栄：18.4%・教養：21.4%）

### 2. 回答結果について・・・回答件数（比率）・対前年度比率

#### ①現在の就労状況について

- ・新卒時就職先 : 60件（73.2%）・▲6.8%
- ・転職先 : 14件（17.1%）・+4.6%
- ・フリーランス・個人事業主 : 0件（0.0%）・▲1.3%
- ・アルバイト・パート : 3件（3.7%）・+2.4%
- ・学生 : 1件（1.2%）・▲2.6%
- ・専業主婦 : 1件（1.2%）・+1.2%
- ・無職 : 3件（3.7%）・▲0.1%
- ・その他 : 0件（0.0%）・±0.0%

#### ②新卒時の進路決定理由について・・・回答件数（比率）・対前年度比率

（複数回答可→回答総数154件）

- ・業種・職種 : 41件（26.0%）・+1.7%
- ・業務内容 : 18件（11.0%）・▲0.6%
- ・給与・福利厚生 : 31件（20.1%）・▲2.0%
- ・勤務地 : 33件（20.8%）・+0.4%
- ・社会貢献 : 1件（0.6%）・▲2.2%
- ・社風・企業文化 : 4件（2.6%）・+0.4%
- ・スキルアップ : 5件（3.2%）・▲2.3%
- ・将来性 : 5件（3.2%）・▲2.8%
- ・特になし : 5件（3.2%）・+0.4%
- ・その他 : 11件（7.1%）・+4.9%

③就職活動時の相談相手について・・・回答件数（比率）・対前年度比率  
（複数回答可→回答総数 132 件）

- ・ 家族 : 40 件 (28.8%) ・ ▲ 2.7%
- ・ 友人 : 22 件 (16.7%) ・ + 2.3%
- ・ 教員 : 26 件 (19.7%) ・ ▲ 2.9%
- ・ キャリアセンター : 25 件 (18.9%) ・ ▲ 2.3%
- ・ 特になし : 15 件 (11.4%) ・ + 1.1%
- ・ その他 : 4 件 ( 3.0%) ・ + 3.0%

④就職活動開始時期について・・・回答件数（比率）・対前年度比率

- ・ 1 年前期（夏休み含む） : 4 件 ( 4.9%) ・ + 1.1%
- ・ 1 年後期（冬休み・春休み含む） : 19 件 (23.2%) ・ ▲ 4.3%
- ・ 2 年前期（夏休み含む） : 39 件 (46.3%) ・ ▲ 2.5%
- ・ 2 年後期（冬休み・春休み含む） : 18 件 (20.7%) ・ + 3.2%
- ・ その他 : 2 件 ( 2.4%) ・ ▲ 0.1%

⑤-1 新卒時就職先の離職について・・・回答件数（比率）・対前年度比率

- ・ 離職済み : 18 件 (22.0%) ・ + 8.2%
- ・ 継続就業中 : 64 件 (78.0%) ・ ▲ 8.3%

⑤-2 離職理由

- ・ 企業等都合 : 0 件 ( 0.0%) ・ ▲27.3%
- ・ 自己都合 : 18 件(100.0%) ・ + 36.4%
- ・ 契約満了 : 0 件 ( 0.0%) ・ ▲ 9.1%
- ・ 解雇 : 0 件 ( 0.0%) ・ ± 0.0%
- ・ その他 : 0 件 ( 0.0%) ・ ± 0.0%

⑤-3 離職者の在職期間

- ・ 1 か月以内 : 3 件 (16.7%) ・ + 16.7%
- ・ 半年以内 : 6 件 (33.3%) ・ ▲21.2%
- ・ 1 年以内 : 5 件 (27.8%) ・ + 9.6%
- ・ 1 年以上 : 4 件 (22.2%) ・ ▲ 5.1%

⑤-4 自己都合退職者の退職理由（自由記述・回答数 16 件）

- ・ 人間関係(いじめ)ベテランのミスも新人のミスにさせられた。試作をして食べて貰ったものを食べてないと言われて、仕事が出来ないと言われた。
- ・ 同僚に、子どもたちに対して威圧的な声かけをしている人がいて、心が痛くなりました。ここでは自分のやりたい保育が実現しないと感じ転職を決めました。
- ・ 入社前に言われてたことと違う。入社当日に県外に転勤を言われた。

- ・ 保育者同士の意見の違いなど。
- ・ 体調不良
- ・ 精神的に悩み精神科に通い始め続けることがむずかしくなったから
- ・ 主任の先生や周りの先生たちから理不尽な対応と体調、精神的に続けるのが不可能と判断した。
- ・ 保育のやり方についていけなかった。
- ・ 人間関係
- ・ 会社に対する不信感が募り、不適切保育や職員の一斉退職など結果的に辞めざるを得なかった
- ・ やりたいことがあったので
- ・ 引越し
- ・ 体調的にも精神的にも限界だったので
- ・ 人間関係が上手くいかず体調を崩したから。
- ・ 会社雰囲気
- ・ 職場環境

⑥卒業後の本学との関わりについて・・・回答件数（比率）・対前年度比率  
（複数回答可→回答総数 86 件）

・ 教職員との面会	： 20 件（23.3%）	・ ▲ 8.0%
・ 学校行事で来学	： 3 件（ 3.5%）	・ ▲ 4.0%
・ 証明書等の手続き	： 3 件（ 3.5%）	・ + 3.5%
・ 電話・メール等での連絡	： 8 件（ 9.3%）	・ + 3.0%
・ 特になし	： 49 件（57.0%）	・ + 7.0%
・ その他	： 3 件（ 3.5%）	・ ▲ 1.5%

⑦大学等での学び直しについて・・・新設問

・ したいと思う	： 24 件（29.2%）
・ したいとは思わない	： 58 件（70.7%）

⑧学び直しをしたい理由（複数回答可→回答総数 34 件）・・・新設問

・ 現在の職務に活かせる知識を得るため	： 12 件（35.3%）
・ 転職や昇進等キャリアアップのため	： 8 件（23.5%）
・ 資格取得のため	： 14 件（41.2%）
・ その他	： 0 件（ 0.0%）

⑨学び直しにおいて身につけたい力や資質等（複数回答可→回答総数 72 件）・・・新設問

・ 実行力	： 9 件（12.5%）
・ 計画力	： 11 件（15.3%）
・ 創造力	： 5 件（ 6.9%）

・発信力	： 1 件 ( 1.4%)
・傾聴力	： 3 件 ( 4.2%)
・基礎学力	： 10 件 (13.9%)
・課題発見力	： 6 件 ( 8.3%)
・情報把握力	： 5 件 ( 6.9%)
・ストレスコントロール力	： 5 件 ( 6.9%)
・主体性	： 6 件 ( 8.3%)
・柔軟性	： 10 件 (13.9%)
・規律性	： 1 件 ( 1.4%)
・その他	： 0 件 ( 0.0%)

⑩ 本学への希望及び後輩へのアドバイス等（自由記述・回答数 9 件）

- ・ 何か学校で後輩達に話す機会などあれば参加できたらします。  
勉強も大事すぎるけど、やっぱり実技がすごく役に立ちます！実習での経験など
- ・ 仕事は、気合い ^^
- ・ 就職して合わなければ辞めるのも選択の 1 つではないかなと思います。自分に合った職場が必ずあると思うので無理に続ける必要はないと思いました。再就職してから 1 年半経ちますが楽しく働いています。頼れる先輩たちも沢山いる職場です！
- ・ 大学に比べると、2 年もはやく就職することになるので、不安も多いとは思いますが、この 2 年間の差は大きいです！（いい意味で！）  
それぞれの分野をしっかりと学習してから職に就くことももちろんですが、実践しないと分からないこと、身につかないこともたくさんあります。よりはやくスキルアップできるところが、短大のいいところだと思います！応援しています！
- ・ 社会人になると学びたいことがあっても時間に追われて、なかなか集中して勉強ができないので、学生の間をやってみたいこと学んでみたいことを積極的に見つけて実行すべきだったなど後悔しています。あとは、講義の中で世の中の税金の動きや、年金、ローン、リボ払いとかそういうお金関係知りたかったなどと思いました。
- ・ 小学校教員をしています。学生時代に高望みや理想を掲げていた、いわゆる夢追い人たちに限って仕事辛そうにしています。学生時代は気持ちが大きくなりがちかと思いますが、恐らく現場で自分の実力を直視して辛くなるんだと思います。短大では、基礎知識をしっかり身につけ、本当に進路はそれでいいのか考えましょう。短大の同期たちを見てみると、本当に色々な就職先があるので、広い目を持つと良いと思います。新卒合格すれば、最短ルートとなるので、転職しやすいと思います、しませんが。保護者の皆様からは若いからと無視されたり、冷たい人だ、よそのの、教師失格と何度も言われますが、一方でやめんでください、先生で良かった、先生がきっかけで学校行けるようになった、感謝してる、という応援の声や吉報も耳にします。言いたい人はいくらでも言いますし、声がかいので心に響きますが、応援してくれる人も絶対いらっしゃいます。（学生時代に趣味を見つけておけると、嫌味言われても、なんか言ってるぜ、くらいで流せるようになりますので、是非趣味探しもしてみてくださいね）現学生の皆様の就職活動が順調

に進みますよう、心より応援しています。

- ・ 卒業生として、先生方に相談できる日や連絡先が明記されていると短大へ行きやすい・相談しやすいと思います、（まだまだ御相談させて頂きたいことが多く、なかなか踏み出せずにいる日々です。）後輩の方々へはとにかく沢山学ぶことが大事だと思います。新しい時代の知識を身に付け、アウトプットしていくことが出来れば、1年目だとしても頼られる存在、園内に新しい風を吹かせる存在となる事が出来ます。そして、正しい知識で保育、教育をすることが出来ます！一番大切なのは就職しても続けられるストレス発散法、体調管理方法を見つけること。本当に気付かぬうちにストレスを抱えて体調崩します。
- ・ 後輩の皆さんへ。たくさんの経験ができる学校です。困ったり悩んだりしても、先生やスタッフの方が助けてくれます。自分からどんどん声をかけて、たくさんのアドバイスももらって、自分の成長につなげてください。
- ・ 劇の衣装作りや手作り玩具の作り方などもご指導いただけると助かると思います。実習など大変だと思いますが、勉強したことが土台になり、その上に就職後の経験が積み重なることで保育・教育の専門として生きていくと思います。頑張ってください。

#### 【まとめ】

本調査は、令和2年度より開始し本年度が6回目の実施である。今年度の調査も前年度に引き続き、卒業時に登録したメールアドレスに回答フォームを送信する形式で実施した。回答数は82件で回答率は前年比+0.4%となった。

今年度の調査では、「就職活動開始時期」については前年度調査よりさらなる晩期化の傾向がみられ、「離職者の在職期間」については前年度調査よりさらに短期化の傾向が見られた。また現在の就労状況について、新卒時の就職先を離職し、転職している卒業生が前年度より増加の傾向が見られた。

まず「就職活動開始時期」については、「2.④就職活動開始時期について」において1年後期、及び2年前期がいずれも対前年度比において減少し、2年後期が増加している。この要因としては、児童教育学科の回答数が対前年度24件増加、食物栄養学専攻・教養学科の回答数が対前年度17件減少したことによるものと推察される。

調査対象年度の卒業生の内定率は、9月末が19.9%、12月末は69.3%、2月末に93.7%と推移しており、学科専攻によっては学外実習終了後に就職活動が活発化する学生が多いため就職活動終了時期が晩期化する傾向にある。また、「2.⑤-3 離職者の在職期間」においては、前年度調査において0件であった「一か月以内」が16.7%、「半年以内」が33.3%と、離職者の半数が半年以内に離職しており、在職期間のさらなる短期化が見られた。離職理由は、体調面や精神面、職場環境などがあるが、「2.①現在の就労状況」によると現在はほぼ「転職し、別の企業・事業所等に勤務」であり、転職後の状況は安定しているように推察される。

今後の課題として、早期離職の抑制を目的とした、就職活動時のミスマッチを可能な限り解消するための取り組み（インターンシップへの参加・企業訪問の推奨等）を継続して推進する必要がある。

以上